

## 一歩でも二歩でも、1人でも2人でも平和の道を歩こう！

徳島県境からの2日目、東かがわ支所の女性の支店長さんにご挨拶。思わずジェンダーフリーと思ってしまいました。高松市内の支店長さんにも挨拶しますが、みんな男性だったからです。

さて出発時間になっても、メッセージ持参の東かがわ市の方が1人だけでした。音楽をかけ出発。すると駐車場から1人見覚えのある顔が近づいてきます。2人目、少し行ったところで三木診療所から1人。これが朝の実態。昼は朝からの通しの1人と民商からの1人で最後まで行進しました。

東かがわ市役所に来た来訪者が聞くので、愛媛県境まで200km歩くと言うと「ご苦労様」と激励。JR丹生駅前で、いつものクリーニング屋の主人が音楽を聴き、大きく手を振って激励してくれました。

東かがわ市の上村一郎市長は暑い中の行進を労った後、「平和は難しいが、続けることが大切、長い時間がかかるが粘り強く」と激励して頂きました。渡邊堅次議長は昨日の引継ぎ式を見たとき切り出し、「被爆体験から原爆はいらないことは知っていても盾になると言う。原発も危険だといながら続けると言う。原爆も原発もいらないと言い続けることが大切」と強調しました。また松浦隆夫教育長はこの活動の大切さを評価され、「東かがわ市では『ふるさと教育』を重視しているが、世界中にその人その人の故郷が有ることがポイント、子どもたちに平和を願ってふるさと教育をしていきたい」と強調。最後に久保武士香川県平和労組代表（自治労香川県本部副執行委員長）は昨年起こったウクライナ戦争がまだ続いていることについて、労働者とその犠牲になっていることを考えるのが大切と強調。平和について、平和労組でもリレーでアピールしているが、市民に見えることが必要と強調。4人の方々から激励の挨拶を頂きました。

昨年の通し行進者の山口逸郎さんは、出発式の最後に3役とともに横断幕を持って「では一歩」と言って3役と歩きました。今日の実行はそれより多い1人・2人。みんなが歩くから「道」になるのです。多くの人々が歩いて「平和の道」を築いていきたいものです。頑張りましょう。



東かがわ市役所3役と出発式



朝の三銃士